

# 早期声門部癌の1回2.25Gyによる放射線治療の実態調査に関する研究 ー多施設による遡及的調査ー

- 東海放射線腫瘍研究会(TOSTRO)による実態調査では、早期声門部癌に対し多くの場合化学放射線治療が行われていた。
- 放射線治療単独の場合、多くの症例は1回2Gyによる治療が行われていたが、局所制御率は90%を下回っていた。  
Itoh: Anticancer Res 2010, 30:5181-5184  
Hirasawa: Radiat Oncol 2012, 7:122
- 1回2.25Gyによる放射線単独治療においてI期声門癌に対し良好な局所制御率が得られるという報告がある。  
Yamazaki: Int J Radiat Oncol Biol Phys 2006, 64: 77-82
- 現在、TOSTROでは多施設から前向きに症例を集積し、I期声門癌に対する1回2.25Gyによる放射線単独治療の実臨床における局所制御率、有害事象を調査しており、適宜学会等で報告している。
- 1回2.25Gyではなぜ良好な局所制御率が得られるのか？放射線生物学的な理由以外にも、放射線物理学的な理由があるのではなかろうか？このことについても、医学物理士の協力のもと、研究を行っている。